

第34回北海道 第38回札幌 2018年

学童保育研究集会

(北海道放課後児童支援員資質向上研修)

未来に輝け、学童保育！！

～子どもの笑顔のためにみんなで学び語ろう！！～

働くお父さん・お母さんを応援する学童保育は、子どもたちの放課後の生活を守り、地域の中でも重要な役割を担っています。学童保育の現状や課題をとらえ、親が安心して働き続けられ、子どもたちの成長が保障される学童保育の在り方を学び合い交流しましょう。

日 程 : 2018年11月18日(日) 9:45~15:45

会 場 : かでる2・7(札幌市中央区北2条西7丁目)

受 付 : 1階 かでるホール前(午後は~4階大会議室前)

申込締切 : 11月5日(月)

9:15 9:45

10:15

11:45

13:00

15:15

15:45

受付	開会集会	・ 記念講演	昼食	分科会	閉会集会
----	------	--------	----	-----	------



記念講演

だいた せいいちろう
代田 盛一郎さん

(大阪健康福祉短期大学子ども福祉学科教授)

学童保育の遊び世界を豊かに

～遊びがはぐくむものへのまなざしを～

社会福祉・児童福祉、保育・学童保育(放課後児童クラブ)を専門とし、保育士・幼稚園教諭の養成を行いつつ、特に子どもの遊びに関する研究をされています。大阪府・和歌山県の「放課後児童支援員認定研修」の講師としても活動されています。

雑誌『日本の学童ほいく』に2018年4月号から9月号まで「【講座】遊び世界を豊かに」を連載。執筆活動として「放課後児童支援員都道府県認定資格研修テキスト」(フォーラムA)・「子どもは遊べなくなったのか」(三学出版)があります(いずれも共著)。

主 催 北海道学童保育連絡協議会・札幌市学童保育連絡協議会・北海道

後 援 北海道教育委員会・札幌市・札幌市教育委員会
社会福祉法人北海道社会福祉協議会・公益財団法人北海道青少年育成協会
公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

第1分科会【学童保育の役割と大切にしたいこと（基礎編）】

講師 竹田こずえさん（札幌市・NPO法人児童育成会伏古わんぱくクラブ 放課後児童支援員）

子どもたちの放課後生活を支え、より豊かなものにしていくために大切にしたいことはどのようなことでしょうか。講師の豊かな実践に触れながら放課後児童支援員（学童保育指導員）の役割を学びます。『テキスト学童保育指導員の仕事』（全国学童保育連絡協議会発行・800円）を使用します。（会場で販売）

第2分科会【子どもをとらえる視点と働きかけ】

助言者 佐藤竜也さん（札幌市・ふうせんクラブ児童育成会 放課後児童支援員）

レポート：斉藤麻衣さん（函館市・にじのはなクラブ 放課後児童支援員）

函館市内に設立されて5年目の学童保育所からの報告。子どもたち一人ひとりをどうとらえ、どのように働きかけ、地域の中で継続してきたのでしょうか。設立当初から奮闘を続ける放課後児童支援員（学童保育指導員）からのレポートを基に学び合いましょう。

第3分科会 A【学童保育の生活とあそび】

講師 工藤誠さん（札幌市・屯田すくすく児童育成会 放課後児童支援員）

レポート：柴田田鶴子さん（札幌市・NPO法人川沿あすなろ児童育成会 放課後児童支援員）

レポート：梅村一義さん（札幌市・共同学童保育所スタート 放課後児童支援員）

「生活」と「あそび」は学童保育の活動そのものです。それを創りだしているのは、そこにいる子どもたちと放課後児童支援員（学童保育指導員）たちに他なりません。「生活という当たり前づくり」の具体例に触れながら、様々な現場の実践を基にディスカッションして「自分の当たり前」を見つめ直しながら考え学び合いましょう。

第3分科会 B【学童保育の生活とあそび】

講師 竹田謙也さん（札幌市・飛行船児童育成会 放課後児童支援員）

レポート：宇夫佳代子さん（札幌市・なかよしどろんこクラブ 放課後児童支援員）

レポート：山崎泰さん（札幌市・ひまわり子供児童育成会 放課後児童支援員）

「生活」と「あそび」は学童保育の活動そのものです。それを創りだしているのは、そこにいる子どもたちと放課後児童支援員（学童保育指導員）たちに他なりません。学童保育に不可欠な「あそび」を真ん中にしながら、その切り口から見えてくる「生活」や子どもたちの姿を共有し、ディスカッションしながら考え学び合いましょう。

第4分科会【障がいのある子や気になる子の学童保育】

助言者 花田 祥子さん（札幌市・厚別あゆみクラブ児童育成会 放課後児童支援員）

レポート：川村めぐみさん（札幌市・イルカ児童育成会 放課後児童支援員）

学童保育の生活の中で“できないこと”がある「気になる子」とその保護者の思いにどう寄り添うかが大切です。障がいのある子への支援方法を、学童保育に通う障がいのある子の母でもあり放課後児童支援員（学童保育指導員）でもある両方の視点からのレポートを基に学び合いましょう。

第5分科会【高学年の子どもたちにとっての放課後生活と学童保育】

助言者 太田一徹さん（札幌市立羊丘小学校教諭・北海道大学非常勤講師）

レポート：藤本隆匡さん・佐藤愛さん（帯広市・東エリア児童保育センター 放課後児童支援員）

新制度になって4年。高学年の受け入れを始めた帯広の学童保育。保護者は、放課後児童支援員（学童保育指導員）は、そして子どもたちは「高学年になっても学童保育に通う」ことをどのように受け止めたのでしょうか。4年間の軌跡を辿りながら、高学年にとっての放課後生活を考え学び合ひましょう。

第6分科会【保護者と学童保育 「つながり」を考える】

助言者 辻智子さん（北海道大学大学院教育学研究院准教授）

レポート：渡部智代さん（栗山町・栗山児童センター 放課後児童支援員）

地域・保護者とともに立ち上げた学童保育所。地域で関わる人がいなくなり、保護者会はあるものの役員のなり手がなく、保護者会を再生することの難しさを実感しつつ、奮闘する栗山町の放課後児童支援員（学童保育指導員）から課題提起されます。一緒に考え学び合ひましょう。

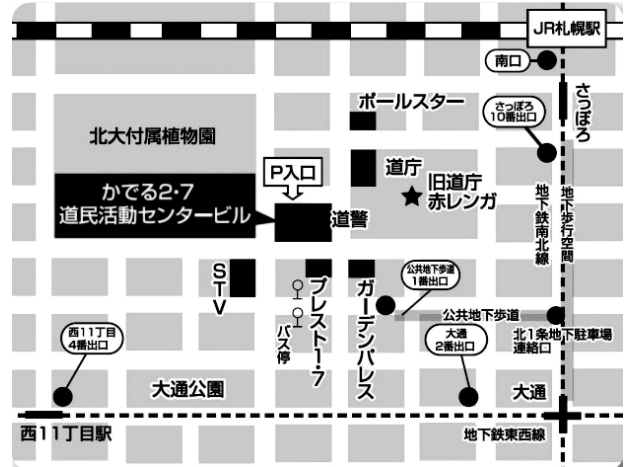
第7分科会【学童保育施策のこれからを考える】

講師 木田保男さん（全国学童保育連絡協議会）

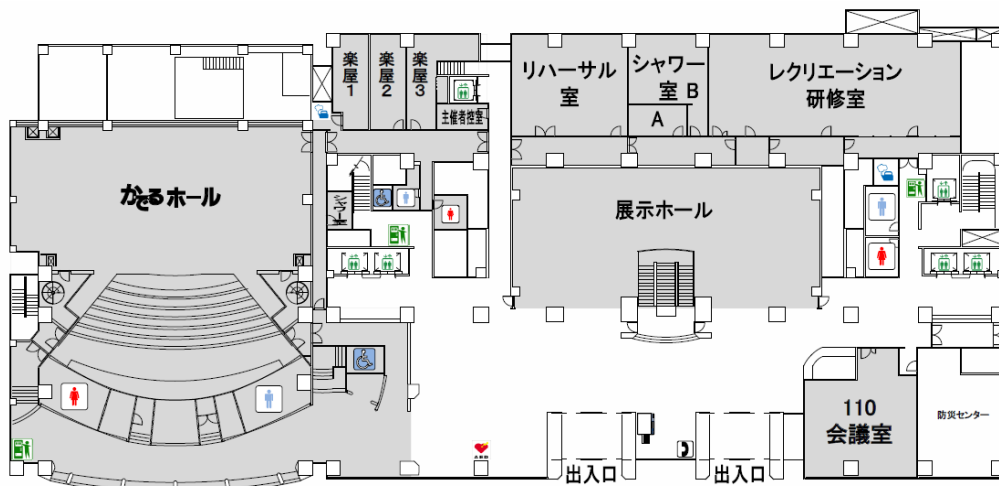
子ども・子育て支援新制度が施行され、学童保育の量的拡大・質的拡充が推進されています。質の拡充とはすなわち学童保育で働くひとの資格創設や配置の基準策定、そして「キャリアアップ処遇改善」などの処遇改善です。各市町村での課題、問題点などを出し合いながら、よりよい学童保育を目指すために何が必要かを学びます。

《会場への行き方》

- ・ J R 札幌駅南口徒歩 13 分
- ・ 札幌市営地下鉄さっぽろ駅（10 番出口）徒歩 9 分
大通駅（2 番出口）徒歩 11 分
西 11 丁目駅（4 番出口）徒歩 11 分
- ・ J R 北海道バス・中央バス：「北 1 条西 7 丁目」
徒歩 4 分
- ・ 公共地下歩道（地下歩行空間から北 1 条地下駐車場
連絡口をお通りください）1 番出口徒歩 4 分



*かでのる2・7内 1階から4階へは、向かって左側のエレベーターをお使い下さい。



参加費 一般 3000円

北海道学童保育連絡協議会の会員 2000円

弁当 600円 (※お茶は付きません) 保育 (原則3歳以上) 1人につき 500円

1. 申し込みは、参加費等を所定の口座に入金し、その領収書のコピーと下記申込書をファックスで送るか、道連協HPの申込フォームに入力しメールに添付して送信ください。【キャンセルする場合は、11/5 (月)までにご連絡ください。期日を過ぎると返金できかねますことをご了承ください。】
2. 事前に費用の振込みができない場合はご連絡ください。
3. お弁当・保育は事前申し込みが必要です。
4. 参加証・領収書は当日受付でお渡しします。
※事前に全額入金の確認ができた方には、参加証を郵送いたしますのでご持参ください。
※領収書に所定の書式等が必要な場合は事前にお知らせください。

【申込先】北海道学童保育連絡協議会 (道連協)

〒060-0806 札幌市北区北6条西6丁目2-12 第1山崎ビル1F

FAX&TEL 011-756-2800

(申し込み専用アドレス) do_gakudou_manabi@yahoo.co.jp

【振込先】

ゆうちょ銀行：(記号) 19090 (番号) 28937781 (口座名義) 北海道学童保育研究集会実行委員会
北洋銀行：北二十四条支店 (普) 4150147 (口座名義) 北海道学童保育連絡協議会

2018年 北海道・札幌 学童保育研究集会 参加申込書

氏名	(ふりがな)	住所	参加証郵送先 (職場・自宅)どちらかに○をしてください			
			〒	TEL	FAX	
所属団体名 (放課後児童クラブ名)		市町村名				
立場	該当するものに○をしてください 保護者 放課後児童支援員(学童保育指導員) 保育士 教員 学生 自治体職員 議員 その他()					
北海道学童保育連絡協議会 会員 ・ 一般 (どちらかに○をしてください)						
*分科会(希望する分科会の番号を1つ選んで ○をつけてください)			弁当	いる ()個(@600円) いない		
第1	第2	第3A 第3B			第4	第5
未定						
保育希望 ()人(年齢 才、 才、 才)(1人500円)			参加費等合計 _____ 円			